

2020年7月17日



「豪雨等自然災害募金 2020」のお願い

教団理事長 土屋 潔

全知全能の主の御名を崇めます。

梅雨前線の影響で豪雨に見舞われた九州を中心に、84河川の100カ所で氾濫が確認され、各地に甚大な浸水被害がありました(7/9現在)。AG教団・九州教区の諸教会の信徒宅でも床上浸水などの被害が報告されています。被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、天の父なる神の慰めと励ましが豊かにありますようお祈り申し上げます。

今までAG教団では全国の諸教会に状況を報告し、共に祈り合い、またその都度支援金を募り、被災教会へお送りしてきました。そして今年は既に新型コロナウイルスの感染拡大の中で、経済状況(家賃、牧師給、返済等)が悪化している教会への経済支援(給付や貸付)として、「教会支援募金」(2020年7月～10月)のお願いをし、既にご協力をいただきつつあることを感謝します。

加えて、今回は「豪雨災害募金 2020」のお願いです。昨年だけでも、8月に各地点で観測史上1位の雨量を記録し激甚災害に指定された九州北部豪雨、9月には関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力をもった台風15号、息つく暇もなく10月には関東、甲信、東北地方などで台風19号による記録的大雨が、各地に甚大な被害をもたらしました。「数十年に一度」と言われるような自然災害が、毎年のように国内で起こっています。そういう中で、今回の九州豪雨に対する支援金だけではなく、今後日本全国のどこかで自然災害が起りうる可能性のあることを覚え、災害前に「豪雨(自然)災害募金 2020」を募り、被災されたAG諸教会、信徒の皆様いち早く支援金などをお届けしたいと考えています。

《募金の方法》

- 郵便振替
口座番号：日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 00150-0-22007
- オンライン(インターネット)によるクレジットカード決済
教団HPの「献金」ページから、「豪雨災害募金 2020」の項目で、オンラインで捧げることができます。

「一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です」

(Iコリント 12:26-27)

上記の主旨をご理解くださり、AG教団が、キリストのからだとしてますます一致して(「Be ONE!」)、共に前進(「GO FORWARD」)させていただきましょ。